

ここ神崎の地に春の兆し漂う、今日の佳き日に、尼崎市教育委員会・澤田慶太様を始め多くのご来賓の方々をお迎えし、第67回入学式を挙行できますこと、心より嬉しく思います。高いところからではございますが厚くお礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、いま、担任の先生から名前を呼んで頂きました。今日から皆さんは伝統ある小田北中学校の生徒です。入学おめでとう。どうか、今日の気持ちをお忘れず中学校3年間を過ごして欲しいと思います。

入学にあたって、「中学校で学ぶこと」というお話をして、皆さんへの歓迎の挨拶といたします。

中学校では、第一に、教科の学習をしつかりとし、学力を身につけることが大切です。学校の授業だけでは、学力の定着は望めません。学校では授業に集中し、家庭に帰ってからは、予習や復習のための家庭学習の時間をとることが必要です。

次に、教科の勉強以外に頑張る事を何か一つ見つけて下さい。行事の小田北と言われるように学校行事をみんなで頑張る事は勿論、部活動でも学校外の習い事、自分の趣味や好きなことでいいんです。学校の部活動なら運動部、文化部と色々あります。それぞれ皆さんの個性で何を頑張るか？一度考えてみて下さい。

最後に一つ大切なことは、学校という集団の中でしか学べないことです。

自分一人つきりの世界であれば、自分の思うままに振る舞ったところで、誰とも衝突せず、誰にも嫌な思いをさせられることはありません。しかし、周りに大勢の人がいれば、一人のわがままだけを通すわけにはいきません。おのずとルールが生まれ、そのルールに従って生活することが求められるようになります。もちろん、一人一人の良いところを伸ばし、将来の夢の實現に向けて、学習しなければなりません。しかし、それと同時に、集団の中でどのような振る舞いをするしなければならぬか、ということも学ぶことは、将来社会に出て、独り立ちするためにとっても大切なことなのです。ルールを守り、他人を思いやる気持ちを育て、社会の中で気持ちよく生きていく方法を学ぶところが学校というところです。

「我慢すること」「人のために何かすること」「他人と上手く付き合うこと」「お互い様、という気持ちを持つこと」「ありがとう、という思いを持つこと」など、多くの人の中で生活するために学ばなければならぬことは一杯あります。中学校生活の3年間で、できるだけ多くのことを学んでください。

これらのことを忘れずに、有意義な中学校生活を送って欲しいと思います。

保護者の皆様一言申し上げます。本日はお子様の入学、誠におめでとうございます。小さかったお子様が、このように成長され、中学生となられました。今、申しましたように、中学校時代は小学校と違い、思春期と呼ばれる時期であり、社会へ出て行

く準備のための義務教育最終の段階です。「教育の根本目的は、子どもを独り立ちさせるための支援である。」と考えます。つまり、子どもが将来、自立して生きていけるようになるのを支援することです。どのようにして、社会人として独り立ちさせるのか、保護者の皆様と共に考え、生徒たちの自立に向けての教育を担わせて頂きます。そのために、時には生徒たちに厳しいことを言う場合もあるかと思えます。教育は学校だけでは成り立ちません。ご家庭のご理解とご協力が是非とも必要です。ご家庭と学校がしっかりと協力して、子どもたちを立派に育てていきたいものと考えております。どうか、宜しくお願いいたします。

ご来賓の皆様、本日はありがとうございました。学校も子どもたちも地域の皆様を支えご指導いただき、ますようお願い申し上げます。

では、新入生の皆さん、楽しくそして意義ある中学校生活を送りましょう。

これをもちましてお祝いという言葉といたします。

平成27年4月9日

尼崎市立小田北中学校長

前瀧 康彦